

令和7年第9回高梁市教育委員会（定例）会議録

1. 招 集 令和7年8月27日 午前10時00分
2. 開 会 令和7年8月27日 午前10時00分
3. 閉 会 令和7年8月27日 午前11時40分
4. 会議の種別 定例会（第1日）
5. 会議の場所 高梁市役所 4階会議室1・2
6. 出席、欠席した委員の番号及び氏名

委員の氏名	出欠の別	備 考
西 井 道 治	出 席	
渡 邊 あ り さ	出 席	
川 上 は る 江	出 席	
山 縣 始	出 席	

7. 説明のため会議に出席を求められた者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
—	—	

8. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	小 田 幸 伸	
教 育 次 長	伊 丹 誠	
参 与	福 原 洋 子	
参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	藤 井 聡 美	
こ ど も 教 育 課 長	三 宅 美 弥	
社 会 教 育 課 長	亀 山 智 弘	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	野 口 和 則	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	大 月 智 美	

9. 会議に付した議案の題目及びその結果

議案番号	件名	結果
議案第 94号	高梁市立学校給食センター運営委員会連絡協議会委員の委嘱について	可決
議案第 95号	令和7年度一般会計補正予算（9月補正）（教育委員会関係分）について	可決
議案第 96号	高梁市教育委員会の事務に関する点検評価について	可決

10. 会議録署名委員の氏名

渡 邊 ありさ

山 縣 始

11. 議事の内容

別紙会議議事要録のとおり

第9回教育委員会（定例）会議議事要録

1. 開会

教育長あいさつ

令和7年第9回高梁市教育委員会（定例会）の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

立秋を過ぎて3週間になろうとしているのに、夏真っ盛りで、9月、10月まで覚悟しないといけないと感じています。

教育委員会関係の諸事務は、一定の進展を見せています。大きい事業の高梁こども園の落成式ではお世話になりました。供用開始は9月からですが、今週から新園舎でプレ保育を行っており、来週から本格的に供用開始となります。子どもたちは新園舎で非常に元気に遊び、楽しそうに様々な活動を行っている聞いております。

その他のことも進んでいますが、教育長報告等でお伝えします。

また、本日は、議案3件です。よろしくお願いします。

2. 前回教育委員会の報告

教育長	前回の報告に対する質問、意見等はあるか。 なければ承認の挙手を願いたい。 (全員挙手)
教育長	前回の会議録は、承認する。

3. 教育長の報告

(1) 議会関係

8月22日(金)	議会全員協議会
----------	---------

(2) 行事等

7月31日(木)	県幹部市町訪問
8月1日(金)	行財政改革本部会議
8月1日(金)	都市教育長協議会臨時会
8月2日(土)	ひまわり祭り(夫婦岩)
8月5日(火)	子どもを守る地域ネットワーク代表者会議
8月5日(火)	高梁東中再編準備委員会
8月7日(木)	図書館協議会
8月7日(木)	市長報告 教育長表彰(功績賞)
8月7日(木)	全国大会出場壮行会 ・アジア大会 国際大会(障害者男子ソフトボール) ・アジア選手権シムケント大会 ・ガールズトーナメント2025 全日本女子軟式野球大会 ・全国高等学校軟式野球選手権大会 ・ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 ・ヤングリーグ選手権大会(硬式野球) ・全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会
8月8日(金)	夏季研修会

8月9日(土)	まんが灯籠祭り
8月12日(火)	各種団体との懇談会
8月14日(木)	教育長表彰(奨励賞)
8月14日(木)	松山踊り
8月17日(日)	高梁こども園落成式(～18日)
8月20日(水)	県文教委員会視察
8月20日(水)	交通安全対策協議会
8月21日(木)	すきすき探検隊
8月21日(木)	教育振興基本計画検討委員会
8月26日(火)	地域連携・協働研修会
8月27日(水)	全国大会出場壮行会 ・全日本学生選手権大会(ソフトテニス) ・全日本大学男子ソフトボール選手権大会 ・全日本クラブ男子ソフトボール選手権 ・全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会 ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会

4. 議事

教育総務課長	議案第94号「高梁市立学校給食センター運営委員会連絡協議会委員の委嘱について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。
教育長	(全員挙手)
教育長	議案第94号は、原案のとおり可決する。
教育次長	議案第95号「令和7年度一般会計補正予算(9月補正)(教育委員会関係分)について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。
教育長	(全員挙手)
教育長	議案第95号は、原案のとおり可決する。
教育総務課長	議案第96号「高梁市教育委員会の事務に関する点検評価について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。
教育委員	「施策1 Society5.0の時代を生き抜く力を育てます」の今後の方向性について、前回提示された文章と全く同じだが、「成果と課題について検証を行う。」とある具体的な内容を教えてもらいたい。 教育委員会も一生懸命改善策を立てようとしているが、この文章だけでは今までとあまり変わらない。 学力向上のためには地方教育経営の要である教育委員会の責任は大きいと思う。 学校が学校長のリーダーとしての采配で変わっていくように、教育活動は教育委員会がリーダーシップを取りながら変わっていったら当然だと思っているので、今後の方向性の中身を聞きたい。
こども教育課長	前回、指導教諭等を中心に授業力を高める、授業力のある先生たちを中心に研修をというご意見を頂戴したので、3つめの黒丸にその点を加筆させていただいた。 特に主体的な学びという部分が大切になっていき、探究だけではなく、普通教科の学習についてもその辺りは強化していくと考えている。

教育委員	さらに、ミライティーチャーズアカデミー高梁についても、先ほどの授業力を高める支援という部分にも関わると思うが、人材育成に力を入れていきたいということで追記した。 また、8月には学力の担当者会を行い、先ほどの教育長の報告の中にも生徒指導と教科指導を一体的にというような話もあったが、生徒指導担当及び探究的な研修、学力講座の研修も行った。 現在、具体的に各校での分析をお願いしており、その分析を基に早くからのアプローチをお願いしている。 中学校3年生については、岡山県全体的に学力がぐっと下がっており、分析としては、やはり学習時間の短さは否めないと思っている。 なので、まずは授業のあり方。中でもやはり授業力を高めるとともに、適応題の辺りからさらに発展問題のところまで行かないような授業が多いので、そこにメスを入れて、もう少し定着まで行くということを、今度の校園長会等でもお伝えしていこうと思っている。 子どもたちについては、意欲的に学習に取り組んでいるが力が身についていない状況で、そこが本当に難しいところではあるので、もう少し基礎基本の定着と、意欲が上がるような応用題への挑戦、あとは家庭学習との連携、その辺りが大きな鍵になってくると考えている。 先日、研修に参加した際に、ICTの活用に関して具体的な例をあげながら、探究だけではなく主要な授業にどう使いこなすかといった話を聞いた。その中で、ICT機器については道具に過ぎないので、その道具を使いこなしているかどうかという視点を持っていないとダメで、一番身に着きたい能力にまで指導ができていない例が多く、使うことで満足していることが多いと言われていた。 また、学習指導要領の方向性の中で、どれが核になっているか一単元の中で理解できないままに指導しているので、教科の核となる考え方を教師に持っていてもらいたい。 きちんと説明ができるや、根拠を挙げながら説明できるなど、そのような力をつけながらICT機器を活用するという力をつけてもらいたいと文科省としても考えていると言われていた。
教育長	高梁市の教育活動ではどこを補っていないといけないのか。探究も必要だが、傍観的に見た感じでは、探究的な時間は優れているが、活躍しているのは一部の生徒になっているという感じがする。登校しても、特別の教室に通っている子どもたちの学力をどう上げていくのか。そこを変えていかないといけないと感じる。 そのような課題もあり、それを私も感じるので、課長の言葉を聞ききちんと手を打ってくださるだろうなとは思っているが、課長だけではなくて、学校現場がそのように意識してもらえたら嬉しいと思っている。 子どもたちは意欲もあるし、学校も楽しく、しっかり話をして解決し、ICTもしっかり使用しているが、学力調査の結果が良くない状況については改善が必要と感じている。授業に臨む先生の教材研究ができていないか、またこの時間は何を中心に授業をするのかというような構想ができるレベルの先生であるかどうかが一番大事だと思っている。教育委員会としては最低保証の具体的な戦略をたてる必要があると考えており、授業のパターンを持てる先生を育成していきたい。 最低保証しながら、あとは学校に任せて、それぞれ積み上げていってほしい。
こども教育課長	今まで校園長会等で伝えてきたが、行き届いていない部分があることについて、教育委員会としても反省部分だと感じているのでしっかりやっていきたい。 高梁市についてもICTは活用しているが、つけたい力を発揮する表現力とか、そういった思考力までは及んでいないと分析している。 核になる、授業の本質のところを知って授業ができていないかという部分についてカリキュラムマネジメントが必要で、授業のモデル例を作っていくことも考えている。
教育委員	学力・学習調査について各学校単位での結果も出ているのか。
こども教育課長	小規模校、大規模校では傾向はどうか。 小規模校と大規模校で分かれるというよりは、各学校のカラーになってくるので、小規模校だからと言って必ずしも高得点ではない。一概には言えない状況。

教育長	高梁市は組織が小さいので変動が激しく、小規模校の学力がとても良いこともある。学力については、学級が成り立っているとか成り立っていないとか、学級が落ちているか落ちているかいうところも莫大な影響がある。様々な要因が考えられるので、教育委員会としてはできることをしていきシンプルに頑張っていかなければいけないと感じている。
教育委員	校長先生の熱量や学校の雰囲気はやはり学校によって違い、高梁市として同じ方向に向いていくことは難しい部分もあると感じる。子どもたちが犠牲にならないことが1番大事だと思うので、学校は学級が落ち着いた環境を作っていかなければいけないと思う。学力を急に上げることは当然できないので、まずは静かに授業できる雰囲気づくりに最低限注力してもらいたい。
教育長	授業の在り方も大切だが、教職員の確保が一番難しいと感じている。
教育委員	市外の職員が多いなか、高梁の風土づくりや、先生の考え方に結び付くようなシステムを作っていき、教員の確保や人材育成に力を入れていきたい。 教育委員会の思いをしっかりと伝えていけば、教職員も頑張ろうという思いになると思うので、理念を伝えて鼓舞するというか、やる気にさせるということは、教育委員会ができることかなと思っている。 風土づくりの取り組みはとてもいいことだと思うので、モチベーションを高めるように現場にも伝えていってもらいたい。 ほかに何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手) 議案第96号は、原案のとおり可決する。

5. その他

- (1) 高校生みらい共創課について (参与)
- (2) 高梁東中学校再編準備委員会について (教育総務課長)
- (3) 高梁こども園落成式・プレ保育等について (教育総務課長)
- (4) 学校給食センター再編及び民間委託について (教育総務課長)
- (5) すきすき探検隊について (社会教育課長)
- (6) イベントの案内について【平松伸二原画展、もっとタグコレ】 (社会教育課長)
- (7) その他

教育委員	松山高校を訪問した時に、給食としてパンと牛乳を食べていたがパンがとても薄く、働きながら勉強する生徒には量が少ないのではないかと感じた。国の授業料無償化の制度もあるので高校の授業料を上げていくことも検討しながら、少しでも子どもたちに還元してもらえたらと思う。
------	--

6. 閉会 午前11時40分閉会

高梁市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、ここに署名する。

令和7年9月25日

署名委員 渡邊 ありさ

署名委員 山縣 始

作成職員 大目 智美